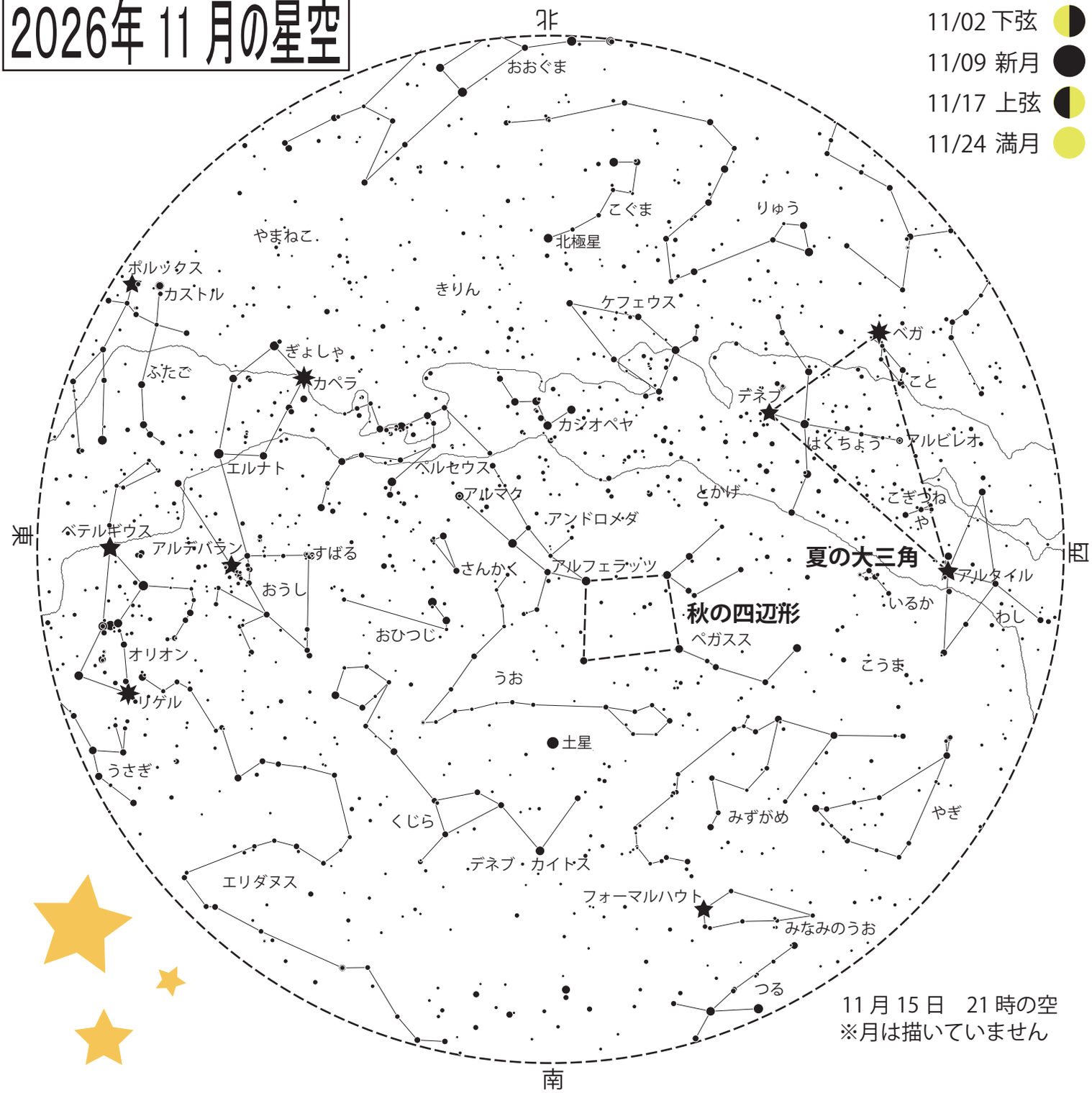
姫路で見る 2026年11月の星空

図の中心が頭の真上（天頂）、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

姫路科学館
Himeji City Science Museum

11/02 下弦
11/09 新月
11/17 上弦
11/24 満月



11月15日　21時の空
※月は描いていません

西の空に**こと座**の**ベガ**、**わし座**の**アルタイル**、**はくちょう座**の**デネブ**を結んでできる**夏の大三角**が見えています。一方、南の空高くには**ペガスス座**の胴体にあたる**秋の四辺形**がのぼっていて季節の移ろいを感じさせます。

秋の四辺形の西側の辺を南へのばすと、**みなみのうお座**の**フォーマルハウト**が見つかります。ペガススのおへそにあたる星、**アルフェラッツ**から北東へのびるAの形の星の並びは**アンドロメダ座**です。アンドロメダ座はペガスス座と共に、「エチオピア王家の物語」に登場します。アンドロメダ座の先にある**ペルセウス座**や、**デネブ・カイトス**を持つ**くじら座**、北の空にあるWの形が目印の**カシオペヤ座**と、その隣に見える**ケフェウス座**も物語の登場人物たちです。秋の夜長に星空を見て、物語に思いをはせてみてはいかがでしょうか。

くじら座のあたりには**土星**が輝いており、暗い星が多い秋の星座たちの中でよく目立っています。11月の間、土星はほぼ一晩中見えているので、ぜひ望遠鏡で観察してみてください。